

31 政 計 計 第 32 号  
平成 31 年 4 月 19 日  
知 事 決 定

## 「新たな長期計画（仮称）」策定に向けて

都は、2016 年 12 月に策定した「都民ファーストでつくる「新しい東京」～2020 年に向けた実行プラン～」(以下「実行プラン」という。)に基づき、「セーフシティ」「ダイバーシティ」「スマートシティ」の3つのシティの実現に向け、様々な政策を積極的に展開している。

一方で、2025 年以降の人口減少や更なる少子高齢化といった社会構造の変化、激化する国際都市間の競争、気候変動や想定を超えた自然災害など、都は厳しい環境に直面している。加えて、今般の地方法人課税のいわゆる「偏在是正」措置等の影響により、都財政は楽観できない状況が見込まれる。

こうした中であって、東京が首都として、日本の発展を牽引していくためには、これまで実行プランで取り組んできた政策のバージョンアップや都民ニーズに応じた新たな取組を積極的に展開し、国際的な都市間競争を勝ち抜き成長を続ける都市を実現しなければならない。

また、本年のラグビーワールドカップや、来年の東京 2020 大会を通じて生み出されるハード・ソフト両面のレガシーを更に発展させることで、都民が安心して豊かに暮らせる成熟した都市としていく必要がある。

こうした考えの下、東京 2020 大会を跳躍台として、東京の発展の原動力である「人」に焦点を当て、3つのシティを更に進化させるため、未来を見据えた長期的な視点に立って、東京の進むべき道のりを示す「新たな長期計画（仮称）」を策定する。

については、下記のとおり、全庁的な検討体制を整え、これまでの政策課題の洗い出しや、目指すべき将来の東京の姿について議論を開始し、本年 8 月を目途に論点整理を行うこととする。

## 記

### 1 長期計画の基本的考え方

(1) 2030 年までの政策目標及び政策展開を定める。その際、バックキャス

ト\*の視点も取り入れて、2040年代を念頭に東京の姿を議論し、2030年の東京の将来像とそれに向けた具体的な政策目標等を設定する。

※バックキャスト

理想的な未来像を想定し、現在からそこに至る道筋を定めること。

- (2) 将来の財政収支の健全性の観点からも検討を進め、持続可能な都市東京の姿を明らかにする。
- (3) 都民や区市町村、外部有識者等、様々な方から幅広く意見を聴取し、政策目標等に反映させることで、東京の総力を結集した計画とする。

## 2 検討を進めるための体制

### (1) 長期計画策定会議

知事及び副知事並びに関係局長からなる庁内検討組織として、長期計画策定会議を設け、将来の東京の姿等について議論を行う。

### (2) 長期計画策定会議幹事会

長期計画策定会議で議論を充実させるため、策定会議の下に、幹事会を設け、具体的な検討や調整を行う。

## 3 検討の進め方

- (1) 長期計画策定会議や各局と政策企画局との意見交換を通じて、実行プランや各種計画等における取組の成果や政策目標の到達状況の整理、今後に向けた課題の洗い出しを行うとともに、目指すべき将来の東京の姿を見据えた議論を行い、8月を目途に長期計画の策定に向けた論点を整理すること。
- (2) 各局において議論する際には、東京の未来を担う若手職員をはじめとする局内職員の積極的な提案を促し、局を挙げて十分な検討を行うこと。
- (3) 戦略政策課題をはじめとする組織横断的な取組や、全国との「共存共栄」に向けた取組を積極的に検討すること。
- (4) 国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」など世界基準からの視点や、国際競争力強化プロジェクトを通じた海外の先進事例の活用など、幅広い観点から議論を進めること。
- (5) 各局が所管する審議会や懇談会等における意見も積極的に取り入れること。
- (6) 論点整理後の進め方については、別途7月を目途に方針を示すこととする。